

令和7年度愛媛県立松山東高等学校（通信制） 卒業式式辞

本日、この佳き日、第73回愛媛県立松山東高等学校 通信制課程 卒業証書授与式及び閉課程式、並びに第60回NHK学園高等学校卒業証書授与式を挙行できますことは、我々教職員一同、この上ない喜びです。御臨席を賜りました多くの御来賓の皆様をはじめ、保護者の皆様方に、厚くお礼を申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました卒業生の皆さん、御卒業、おめでとうございます。皆さんが、本校での学びと出会いを通して手にした確かなものを胸に、新しい世界に羽ばたいていかれることを、うれしく思っています。

通信制の歌の1番は、「遠くはなれて学んでも 心はかたく結ばれる 明るく行こうよ わが友よ ひとりじゃないんだ がんばろう」という歌詞で締めくくられています。作詞された大原和寿さんの文章によると、昭和37年、大原さんの娘さんがお生まれになったとき、「今日生まれた新しい命のために、胸を張れることをやってやろう。」と決意され、本校生になることを決意されました。33歳のことでした。通信制での勉強は、仕事との両立で苦闘の連続、友達を作るとまもないという高校生活の中、当時、募集のあった「通信制の歌」に応募され、「ひとりじゃないんだ がんばろう」の歌詞が見事に採用されたのです。

皆さんは、決して一人ではありません。友垣通信3月号に、卒業生の言葉が紹介されています。「友垣との出会いは、私にとって未来への道しるべでした」「ひとりじゃないと知れた日々が、私を支えてくれました」皆さんは人から支えられ、人を支えてもいる、通教生活で身に付けた豊かな人間性が、皆さんを支える糧となり、先の見えない将来を照らしてくれるのです。

そして、皆さんは、松山東高校通信制最後の卒業生です。本校は、1948年の設立以来、昭和から平成、令和の78年にわたって、県立高校唯一の通信制高校としてその役割を果たしてきました。7000人を超える卒業生の皆さんが、県内外で活躍しておられます。東高通信制の閉課程を記念して、「ひとりじゃないんだ がんばろう」の記念碑が、同窓会の皆様のお力で、この体育館前に建てられました。

本日、御来場の皆様には、体育館後方の懐かしい写真とともに、外の記念碑もぜひ御覧ください。「ひとりじゃないんだ がんばろう」の言葉と精神は、4月から、在校生の皆さんとともに北条清新高校で生きていきます。

保護者の皆様、本日はおめでとうございます。これまで、様々な御苦勞や御心配があったことと存じますが、本日、お子様はこのように頼もしく成長され、晴れの御卒業となりました。これまでの皆様の支えに敬意を表します。

卒業生の皆さん、最後に俳句を一つ紹介します。「運命は 笑ひ待ちをり 卒業す」松山出身の高浜虚子の句です。「運命は 笑ひ待ちをり 卒業す」皆さんがこれから進む道には、困難が待っているかもしれません。でも、通信制で豊かな人間性を身に付けた皆さんには、この俳句のとおり、明るい未来が待っていると信じています。卒業おめでとう。皆さんは、私たち教職員にとって、また、地域や社会にとって、かけがえのない存在です。

皆さんの今後の成長と健康、御活躍を心からお祈りし、式辞といたします。

令和8年3月8日

愛媛県立松山東高等学校長 沖田浩史